

情報端末フェスティバル2009

- 主 催：情報端末事業委員会
- 担当部署：インダストリ・システム部
- 参加者数：約630名

概 要

情報端末事業委員会では、ユビキタス情報社会での情報端末がいかにあるべきかを研究し、我が国の情報端末の新しい分野への発展・普及とこれからの需要喚起を図っていくため、コンピュータのキーコンポーネント（ディスプレイ、磁気ディスク装置、光ディスク装置）、コンピュータの機能を拡張する装置（プリンター、イメージスキャナ）、業務用装置（金融端末、流通POS端末、ハンディターミナル、OCR、KIOSK端末）を情報端末と位置づけ、各製品ごとに専門委員会やワーキンググループを設け、技術動向・市場動向・

各種標準の作成等の調査研究活動を行っており、研究内容の発表の場として毎年情報端末フェスティバルを開催しています。

本フェスティバルは、今年で13回目を迎え、各製品別専門委員会が実施した統計、見通し調査、技術動向を中心とした調査成果報告を12のセッションで紹介したほか、下記の6つの特別セッションにて、IT分野を牽引する事業、最新のトレンドについて情報発信、普及啓発活動を行いました。

プログラム

○「グリーンIT イニシアチブの推進」

経済産業省 商務情報政策局 情報通信機器課 課長補佐 中沢潔 氏

○「IT国産力が未来を拓く

～ポスト・グーグル時代の日本技術の可能性～

ITジャーナリスト 佐々木俊尚 氏

○「2009年不況は底を打ったのか

～2極化に向かう電子機器市場の回復シナリオとは～

アイサプライ・ジャパン(株) 副社長 南川明 氏

○「解決しないソリューション」

(株)ジェーディーエス コンサルテーション&リサーチ
マネージング・ディレクター 西原太可史 氏

○「動きはじめたiVDRビジネス」

iVDRコンソーシアム 会長 釘屋文雄 氏

○「IT産業 再生の針路」

日経BP 編集委員 田中克己 氏

